

## 平成 28 年度全国視聴覚教育連盟 調査研究・委嘱調査研究 「岩手県における視聴覚メディア活用の内容と成果」

### 1. はじめに「岩手県内の視聴覚ライブラリーの現状」

平成 28 年度の岩手県内には 15 の視聴覚ライブラリーがあり、3 協議会と 11 市町、県立図書館で運営されている。その中で、専任職員等が配置されているのが 5 か所で、3 協議会（盛岡教育事務所管内教育振興協議会、県南第一地域視聴覚教育協議会、沿岸第一地域視聴覚教育協議会）と 2 市（花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー、宮古市視聴覚ライブラリー）である。その他の視聴覚ライブラリーでは、市町等の職員（視聴覚担当等）が視聴覚ライブラリー業務を兼任している状況である。また、収入のない視聴覚ライブラリーは 3 市町、昨年度の利用人数が 0 人のライブラリーは 2 町という現状である。

表 1 【平成 27 年度 岩手県内の主な視聴覚ライブラリー 運営状況】

視聴覚ライブラリーの名称	利用対象人数	専任／兼任職員数	収入（有無）	利用人数
◆中央地域 ※1	477,757	1 / 4	協議会費 有	19,174
花巻市立図書館 ※2	99,230	1 / 4	市町村費 有	5,421
北上市	93,676	0 / 3	市町村費 有	6,476
西和賀町	6,076	0 / 10	無	0
◆県南第一地域	268,426	1 / 8	協議会費 有	27,750
◆沿岸第一地域	64,939	1 / 5	協議会費 有	3,651
釜石市	35,547	0 / 4	市町村費 有	665
遠野市	28,529	0 / 6	市町村費 有	641
大槌町	12,306	0 / 3	市町村費 有	0
久慈市	36,443	0 / 3	無	646
◇県北第二地域 ※3	83,634	1 / 4	協議会費 有	899
二戸市	28,174	0 / 6	無	2,298

◆：協議会      ◇：平成 27 年度までの協議会

※1：盛岡教育事務所管内教育振興協議会の視聴覚ライブラリーの名称は、「中央地域視聴覚ライブラリー」である。

※2：花巻市の視聴覚ライブラリーの名称は、「花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー」である。

※3：「県北第二地域視聴覚ライブラリー」は平成 28 年 3 月に解散し、現在は 3 市町（宮古市、山田町、岩泉町）それぞれで運営されている。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波では、主に沿岸第一地域視聴覚教育協議会（大船渡市、陸前高田市、住田町）、釜石市視聴覚ライブラリー、大槌町視聴覚ライブラリー、県北第二地域視聴覚教育協議会（宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町）の被害が大きく、平成 23 年度分の県連絡協議会への負担金徴収を行わなかった。

発災から 6 年目を迎える今年度まで、県内外を問わず多くの団体等より支援をいただき、視聴覚教育による被災地支援を継続している。

## 2. 「被災地への支援活動『映写ボランティア派遣事業』」

岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会では、岩手県教育委員会と連携し「映写ボランティア派遣事業」を実施している。生涯学習を通じて学んだ映写に係る技術を今般の震災に係る被災地住民の心のケア支援に活用するとともに、さまざまな形のボランティア活動の意義を広め、今後の復旧・復興にむけた人間関係づくりに資することを目的としている。

この事業は、沿岸地域の公民館等の社会教育施設、学校、仮設住宅集会所等における映写会（16ミリ映写等）に映写ボランティア等を派遣するものである。派遣に係る経費（旅費）は、岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会より支出される。

平成23年度からの支援実績 ※4は、下のとおりである。

表2【平成23年度～平成27年度 沿岸地域出前映画会支援事業 実施状況】

年度	実施回数	参加者	実施市町村	依頼団体	対応ライブラリー
23	22	382	山田町 宮古市 久慈市 大槌町 岩泉町	放課後子ども教室 放課後児童クラブ 等	盛岡中央ライブラリー、 県南第一ライブラリー、 県北第二ライブラリー
24	13	256	陸前高田市 山田町 岩泉町	放課後子ども教室 放課後児童クラブ 等	盛岡教育事務所、 盛岡中央ライブラリー、 県南第一ライブラリー、 上映ボランティア集団 「フィルムズ アテルイ」、 沿岸第一ライブラリー、 大船渡市教育委員会、 県北第二ライブラリー
25	2	43	山田町 岩泉町	放課後子ども教室 子ども会	県北第二ライブラリー
26	12	384	宮古市	学童	盛岡教育事務所、 県北第二ライブラリー、 宮古教育事務所、 宇都宮視聴覚ライブラリー ※5、 宮古市教育委員会
27	2	50	大船渡市	学童 地区公民館	沿岸第一ライブラリー

※4：本支援実績は、岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会で把握している実績。

※5：うつのみや映写ボランティアの被災地支援の一環として、被災地の希望とマッチングさせた映画会を実施。



### 3. これからの岩手県の視聴覚ライブラリー

全国的には、これからの視聴覚ライブラリーの役割として、デジタルコンテンツの充実とその活用が叫ばれている。地域に残る貴重なフィルムのデジタル・アーカイブ化、また活用のための方策（動画サイトへのアップロードにより、地域住民だけではなく誰もが視聴できる環境整備等）を検討していかなければならない。ただ、本県では表1で示したとおり、各ライブラリーの職員不足（専任職員5名のみ）の現状では、技術の取得等を前提に考えて、なかなか推進していくことは難しいものである。

そんななか、県内各地域では子供たちを対象とした16ミリ映写会が行われ（※表3）、集団で同じフィルムをみて感想を述べながら交流したり、会に併せたレクリエーション等でともに遊んだりする姿が見受けられる。フィルム上映会をコミュニケーションづくりのひとつととらえ実施している。また、会の運営に携わることを通して地域の大人の交流や指導者育成にも役立っている。

表3 【平成27年度 教材映画利用状況】

2 対象別利用状況									
	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	青 年 婦 人	成 人	高 齢 者	合 計 ( 人 )	
中 央	5,532	8,745	5	0	28	871	2,026	1,967	19,174
花 巻 市	637	2,771	21	11	14	520	462	985	5,421
北 上 市	1,083	1,836	561	250	0	442	1,468	836	6,476
西 和 賀 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 南 第 一	8,968	5,294	42	12	9	236	3,538	9,651	27,750
沿 岸 第 一	189	2,620	123	59	11	193	319	137	3,651
釜 石 市	28	249	0	0	0	0	388	0	665
遠 野 市	60	495	0	0	0	10	74	2	641
大 槌 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久 慈 市	131	326	0	0	0	130	45	14	646
県 北 第 二	287	248	0	0	0	262	65	37	899
二 戸 市	1,447	436	26	0	0	123	240	26	2,298
県立図書館視聴覚資料団体貸出部門									105
合 計	18,362	23,020	778	332	62	2,787	8,625	13,655	67,621

また、少子高齢化が進む中で、新たなライブラリー活用が進んでいる。保育園、学童、子ども会等を対象としていたが、高齢者を対象とした上映会が各地で開催されるようになってきている。高齢者サロンでの上映では、振り込め詐欺や交通事故防止等の社会的な課題に関するものよりも娯楽的なコンテンツが上映される場合が多い。

地域で運営する上映会が、子供の減少に伴い、高齢者対象のものになる傾向は岩手県の

# DVD教材 シニア団体の利用好調

## 少子高齢化の波 反映

少子高齢化が進み、県南第一地域視聴覚教育協議会（会長・田面木茂樹市教育長）が無料で貸し出している視聴覚教材（DVD、16ミリフィルムなど）の利用状況が徐々に変化している。昨年度利用の約4割を65歳以上のシニア団体が占め、10年前に比べ倍増。金ケ崎町と平泉町の高齢者施設などを対象に出張上映の準備も進めており、時代に即した教材の活用法を模索する。



少子高齢化が進み、シニア向け教材の利用が年々増えている。

同協議会は、水沢区佐倉河の市立水沢図書館内に本館を置き、江刺と二関、千厩に分館がある。奥州、一関、金ケ崎、平泉の2市2町が負担金を出し合い教材を購入している。教育用アニメから落語まで新旧2112本を収蔵。利用実績が伸びている高齢者サロンをはじめ、子ども会や学校行事など地域の社会教育活動に幅広く活用されている。

昨年度は計1109本の利用があり、「人気ベスト10」のうち高齢者向け3作品がランク入り。1位のDVD「綾小路きみまろ最新ライブ集」は最多24回の利用があり、シニア

世代を中心に延べ664人が観覧した。少子高齢化の進展を

### 県南第一地域視聴覚教育協 10年前に比べ倍増

反映し、65歳以上の団体利用が好調という。同協議会事務局の菊池千賀子さん（63）は「10年前まで全体の2割程度だったシニア団体の利用が年々増え、貸し出しトップの幼児・児童に迫る勢い。横のつながりが生かされ、口コミで広がっているようだ」と話す。

地域別の観覧者数をみると、奥州市1万5675人に対し、金ケ崎町は372人ととまっており、地域格差の解消が急務になっている。同協議会は、早ければ年度末にも金ケ崎、平泉の2町で出張上映会を開き、教材の活用を促しながら利用率の向上につなげる。

視聴覚教材とセットで各種上映機器も無料で貸し出している。利用は1週間以内とし、個人への貸し出しはしていない。各館窓口のほか、同会ホームページ（<http://kaidashiki.or.jp/>）でも申し込める。問い合わせは、同協議会本館（電話23・3511）へ。